

社協みいり

【編集発行】〒731-0211 広島市安佐北区三入5丁目15番9号三入公民館1階

・三入地区社会福祉協議会・広報委員会 TEL・FAX・082-818-7337

・社協みいり各号の原紙(カラー)はホームページ:

三入学区連合自治会・社会福祉協議会で検索して下さい。

第79号

2015年7月

発行部数 2,600部

・目次 2ページ:三入社協役員名簿 3~4ページ:三入地区社協26年度活動報告、新任役員の紹介
5ページ:27年度予算、三入児童館の紹介 6ページ:愛の灯、おくやみ、地域の皆様からの声

「みいりの風景」

写真シリーズ⑩

「安佐北三区・263号線拡張工事」

三入小学校の正門前道路沿いの通学路は、幅が狭いうえに所どころに段差があるために、安全の面で問題がありました。現在道路幅の拡張工事が進んでいます。記念碑の移設を必要とする大規模なものです。工事が完成が楽しみです。

・拡張後の道路幅 9.25M (現在 4.5M 実測値)
・拡張後の歩道幅 2.50M (現在 1.0M 実測値)



※元の設置場所



※土台は6月に移設済み

■三役(サンエキ)記念碑(詳細は三入ホームページまわりの名所・旧跡を参照)

※国道54号の三入小学校信号機、陸橋に隣接していましたが、

道路拡張にあたり、現在、道路の反対側に移設工事中です。

※三役とは、日清・北清・日露の三つの戦役(せんえき)の総称(そしよ)です。この戦いに出兵した村民の栄誉をたたえるために村民総出で建立したものです。

「ふくし探訪」

「日本放送出版協会」の書籍から

●60歳のラブレター

良典様

二十五年前、赴任先の北海道で過ごしたマイナス二〇℃の日々を覚えていますか。見知らぬ土地での新生活は、驚きの連続でした。あなたは宇宙人のような考え方をする人でした。あなたも私によくそう言っていました。

―性善説と性悪説・表と裏・右と左―ずいぶん議論もしたけれど時は意地悪ですね。いつのまにか、相手の心を読むスリルが薄れてきて、ちょっと残念で結婚記念日も私の誕生日も、プレゼントどころか、覚えてすらいないあなた!その口ぐせは「男のやさしさは、物や口先じゃない。いざという時に家族を守ること」。ナルホドね。六人兄弟の長男と一人っ子の私、両方の親を見ることは当然ですが、私が、老人三人を抱えて奮闘している時も、重い痴呆症の母を在宅介護している時も。そして他に身寄りのない伯母を引き取った時も、あなたは実際に手を貸してはくれなかったけれど、背中にあなたの理解を感じていたから、私は楽しむように乗り越えられました。これがあなたの言う男のやさしさかな。くやしいけれど、とってもとってでも感謝しています。やがてまもなく、あなたが職を終えたあとは、お互いの宇宙を大切にしながら、似たもの夫婦になっていくのでもいいかなあと考えてきました。お返事期待しないで待っています。

新井道子 埼玉県熊谷市

◆三入地区社会福祉協議会役員

会長

(平成27年6月現在)

佐々木和治(下町屋7区) 町内会連合会会長

副会長

寺山ルミ子(上町屋安佐可台) 福祉協力員部長

岡田 豊(下町屋8区) いきいきサロン部長

横田正幸(桐原18区) 広報編集委員

山口卓壮(南原七十三石) ボランティア部会長

顧問

栗栖 清(下町屋10区) 町内会連合会顧問

地域福祉推進委員

寺山ルミ子(兼務)

理事

正岡正暁(上町屋1区) 町内会連合会

倉本勝利(上町屋4区) 町内会連合会

野々山八枝(上町屋5区) 三八女性会

観 芳子(下町屋10区) 三八女性会

下谷洋子(桐原15区) 三八女性会代表

森元春江(桐原17区) 福祉協力員

竹田愛子(桐原19区) 民生・児童委員

沖野鈴夫(南原上組) 町内会連合会

稲田博之(南原中組) 民生・児童委員

古本カズエ(南原下組) 三八女性会

監事

竹尾 均(下町屋7区) 民生・児童委員

奥本清志(南原七十三石) 南原地区守口代表

会計

越道慶幸(上町屋安佐可台) 民生・児童委員

事務局

関本一宏(下町屋8区) 事務局長

民生・児童委員

池田恵二(下町屋7区)

福祉協力員事務局

榎 稔治(下町屋4区)

いきいきサロン事務局

齋木 信(下町屋7区)

ボランティアバンク事務局

◆福祉協力員(四十四名)

※太字は地区代表

【上町屋地区】(八名)

大上正司(上町屋1区)

佐々木哲志(上町屋光洋区)

角広 忍(上町屋2区)

河野正明(上町屋3区)

片山保穂(上町屋4区)

山手忠三(上町屋5区)

岩本智之(上町屋新山倉)

重河素文(上町屋安佐可台)

【下町屋地区】(十八名)

下崎紀子(下町屋6区)

中村洋子(下町屋6区)

熊谷栄子(下町屋6区)

欠 員(下町屋7区)

谷川 有未(下町屋7区)

紙川 俊士(下町屋7区)

菅原ヒメ子(下町屋馬場)

植木芳雄(下町屋睦)

山手里美(下町屋8区)

山田 修吉(下町屋8区)

野平加代子(下町屋8区)

沼本 一行(下町屋9区)

小笹 操(下町屋10区)

梶田直子(下町屋10区)

外和重雄(下町屋11区)

阿口マサ子(三入市宮住宅)

立川 幸男(下町屋12区)

大谷邦雄(下町屋13区)

【桐原地区】(十一名)

有本里子(桐原15区)

下谷洋子(桐原15区)

山田喜代子(桐原16区)

森元春江(桐原17区)

荒石正子(桐原18区)

柿原節子(高松町内会)

※竹田愛子(桐原19区)

中村須磨子(桐原19区)

徳丸武司(桐原20区上)

坂本省二(桐原20区下)

中和知子(桐原21区)

【南原地区】(七名)

下原貞子(南原上組)

山口君枝(南原中組)

藤重ケイコ(南原中組)

※古本カズエ(南原下組)

荒川洋子(南原下組)

折出純子(南原七十三石)

河野和子(南原七十三石)

◆代議員(三十九名)

【上町屋地区】(八名)

桐原啓彦(上町屋1区)

石川清二(上町屋光洋区)

新家信孝(上町屋2区)

川重康則(上町屋3区)

倉本明登(上町屋4区)

山手忠三(上町屋5区)

村上澄義(上町屋新山倉)

新田宝治(上町屋安佐可台)

【下町屋地区】(十一名)

谷本哲也(下町屋6区)

人選中(下町屋7区)

甲野一徳(下町屋馬場)

吉平 整(下町屋睦)

黒田芳文(下町屋8区)

西 英明(下町屋9区)

瀧本光浩(下町屋10区)

日高 健(下町屋11区)

高木悦子(三入市宮住宅)

立川幸男(下町屋12区)

中本康成(下町屋13区)

【桐原地区】(十六名)

花本昭三(桐原16区)

森増千鶴香(中庄寺ファミリィ)

上中昭弘(中庄寺自治会)

木谷 正(桐原17区)

武井正數(桐山自治会)

荒石正子(桐原18区)

仁井有功(山根ニュータウン)

山本正勝(高松町内会)

曾我信二(グリーンタウン)

佐伯忠信(吉見谷自治会)

竹田愛子(桐原19区)

田島勇一(丸子山自治会)

飯干孝雄(和自治会)

岩崎紘一(桐原20区)

杉本征雄(桐原21区)

坂口幸司(桐原21区下組)

【南原地区】(四名)

下原敬章(南原上組)

坂本英美(南原中組)

藤井呈四郎(南原下組)

山口卓壮(南原七十三石)

三入地区社会福祉協議会の活動報告

平成27年5月10日(日)に三入公民館において、三入地区社協の代議員会(定時総会)を開催しました。地域のみなさま方に前年度の事業活動の取り組み状況をご報告いたします。

はじめに

昨年の広島市8・20豪雨は三入地区にも甚大な被害をもたらしましたが、復旧・復興に際して県内外から3,900名を超える作業ボランティアの方々が、宅地内や宅地周辺の土砂撤去作業に取り組みました。さらに、町内会や自主防災会など、地域住民による自主的な復旧への活動も含めて、今後の地域福祉推進の向上につながる原動力となることが期待されます。

三入地区社協では、地域での人と人とのつながりや、ささえあいにつながる活動をめざして次の「重点三事業」の取り組みを進めてきました。

- 1) 安心ネットづくり推進事業・・・地域で気がかりな人への援助・ささえあい
- 2) ふれあい・いきいきサロン調整事業・・・地域住民のふれあい・交流の場づくり
- 3) ボランティアバンク推進事業・・・地域住民の参加・ささえあい

重点三事業の個別報告

I、安心ネット(近隣ミニネットワーク)づくり推進事業

1、当部会では前年度の活動を継続し、更により地域に密着できる活動を進めるために社協の他の部会や民生委員などとの連携を深めてきました。

【具体的活動項目】

(1) 救急医療情報キットの配付

- ① 地域から新たに要望があり、キット4セットを追加配付(累計460セット)
- ② 安佐南区の地域団体からキットの納品依頼を受け手持ちの在庫から420セットを融通。

(2) 研修会の開催

「第5回三入地区まちづくり研修会」を開催しました
開催日 : 平成27年2月15日(三入公民館にて)

講師 : 「広島市手をつなぐ育成会」 代表者 藤田 美代子 氏
内容 : 知的障害児・者の「疑似体験」を通して地域の人々に理解を深めてもらう
参加者 : 民生委員、福祉協力員、三入自治連、一般参加者を含めて64名

(3) 従来の独居高齢者への「まごころ弁当」配食(三入女性会のご協力による事業)に代えて、26年度から「まごころ饅頭(和菓子)のお届けに変わりました。

【備考】従来の「まごころ弁当」は、衛生設備などから万が一の食中毒に対応できず残念ながら「和菓子」のお届けに変更されました。

II、ふれあい・いきいきサロン設置推進事業

- 1、サロン代表者会議を年間2回開催しました(平成26年11月、平成27年4月)
- 2、平成27年4月8日開催のサロン代表者会議には、社協会長及び理事・各地区代表(各部会の副会長)・各サロン代表の合計15名の参加を頂きました。
- 3、各サロン別・活動状況…活動を通じての問題点、今後の活動等活発な意見交換を行いました。
- 4、平成26年6月12日には「介護予防セミナーを開催しました。会員45名・一般の方9名(文教女子大学生含む)総数65名の参加を頂き<ロコモシンドロームって何〜に>と題し講義と実技を受けました。
- 5、高齢化が進む現状の中、今できる事を各サロンに適した活動として実施しました。
- 6、新規会員の参加が7名ありました。昨年より継続している新規加入啓蒙活動の成果だと感じています。

【平成26年度 月別・サロン別 行事参加者数】<延べ参加者数 2,539名>

開催月⇒	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上町屋	8	8	28	9	8	8	8	8	29	8	8	21	151
町屋	26	25	28	35	19	26	18	18	42	43	17	19	316
山倉	68	63	60	43	28	60	72	66	58	28	78	59	683
下町屋	27	44	15	18		19	27	59	20	10	31		270
しあわせ	48	6	36		22		30		30				172
あおぞら	12		13	17				17	13		12	10	94
横川	31	37	41	41	17	49	52	22	32		31	29	382
桃の里		9	10	8			9	6	8	8	7	6	71
桐の里		10	9	10			8	10	13		11	14	85
南原			15					19					34
金毘羅会	26	8	33	8	8	8	76	27	44	8	8	27	281
参加者数⇒	246	210	288	189	102	170	300	252	289	105	203	185	2539

Ⅲ 三入ボランティアバンク推進事業

平成26年度も毎週月曜日にボランティア委員が三入公民館に駐在し、皆様からの要望をお聞きすると共に、各地区代表ボランティア委員による支援依頼への対応・調整を進めてきました。

- 1、過去9年間の活動実績を分析し、ボランティアバンク登録者の見直し(登録のお願い等)を行ないました。平成27年3月までの登録者数は45名(内・女性19名)となっています。
- 2、作業依頼件数は26年度<28件>作業参加延べ人数は109名でした。

【平成26年度 ボランティアバンク活動の地区代表委員】

上町屋地区	大上 正司	正岡 正暁	加藤 広己
下町屋地区	隅田 進	池田 秀行	齋木 信
桐原地区	藤井 了		
南原地区	河野 登	重清 静彦	加藤 昇

■ 参考資料

【ふれあいいきいきサロンの名称と代表者名】

※上町屋地区(3サロン)		※下町屋地区(5サロン)		※桐原地区(2サロン)	
・上町屋	松浦 章子	・下町屋	山田 卓二	・桃の里	竹田 愛子
・町屋	富永 道夫	・しあわせ	河野 義治	・桐の里	下谷 洋子
・山倉	椿 稔治	・あおぞら	石川 訓三		
		・横川	国野 正三	※南原地区(1サロン)	
		・金毘羅	岡田 豊	・南原	奥本 清志

【ボランティアバンク活動の年度別支援活動実績件数】

年度(平成) ⇒	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
①子育て支援	21	17	21	17	17	12	9	6
②高齢者の支援	30	29	11	13	12	13	10	12
③地域行事の支援	7	26	19	9	15	10	6	1
④公共場所の美化	7	2	2	8	13	7	10	9
活動件数合計 ⇒	65	74	53	47	57	42	35	28

「新任のご挨拶」
 この度、三入地区社協副会長を仰せつかりました。このような大役は実務経験豊富な方の役割と思っておりましたが、知識・経験ともに浅い私がこの重責を担うことになりました。大きな戸惑いと不安を感じていますが、しかし、引き受けた以上は佐々木会長をはじめ、各役員、また地域の多くの皆さんのお力添えを頂きながら、「地区内市民の親睦と福祉増進を図り、住みよく明るい健全な地域社会をつくる」という社協の目的に向けて、微力ではありますが取り組んでいこうと思えます。

私たちが自身が、住みよく明るい健全な地域社会に住んでいる事を実感できるような社会を目指したいと思えます。そのためには皆さんの一層のご支援・ご協力も欠かせません。今後ともよろしくお願い致します。



新年度役員のご紹介

副会長(南原地区代表)

ボランティア部会

山口 卓壮

三入地区社会福祉協議会の役員として地域福祉の推進に貢献され多大の成果を残されました。

前・副会長 (南原地区代表)
 ボランティア部会長
 河野 登

永い間ありがとうございました

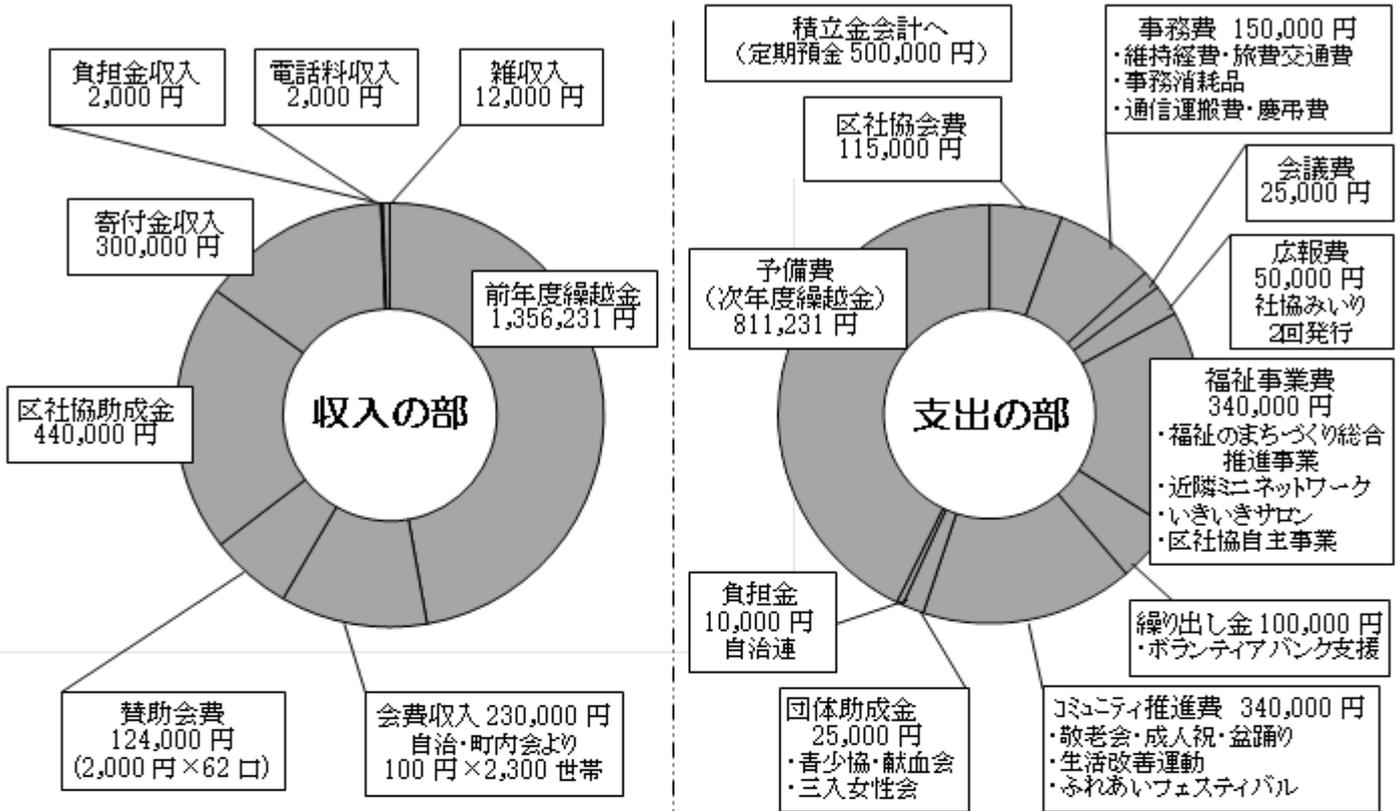
お詫び

広報誌「社協みいり」第78号(平成27年1月1日発行)の、三入地区社会福祉協議会賛助会員名簿に次の記載が欠落していました。大変ご迷惑をおかけしました。

軽費老人ホーム コーポなばら [上町屋 1539] TEL 818-2803
 (株)三和会ショートスティわかば [桐原 832] TEL 818-8882

平成27年度予算の内容

予算額 合計/2,466,231円



三入児童館の紹介



三入児童館 館長 門田 佳代



三入児童館は三入公民館の隣に屋根続きにあります。普段はお昼から開いていて、学校が終わった子供たちが根の谷川沿いの道を歩いて帰ってきます。家に帰っても保護者のいない子供たちです。

その子供たちが宿題を終わらせた頃、一度家に帰った子供たちもやってきて、学校が早く終わる木曜日ほど大にぎわい。

遊戯室では一輪車・ドッジボール・バドミントンなどを時間を区切って遊び、図書館ではお絵かきをしたり、本を読んだり。工作室では、ドミノをしたり、大型積み木で作った家でもまごことをしたり。

しかし、今仲良く遊んでいたのに、蹴る、たたくの大げんかが始まることも。(女の子もですよ)

できるだけ、自由に遊んでほしい児童館ですが、みんなが楽しく、仲良くよく過ごせるよう、社会のルールが守れるよう、時には厳しく、時には褒めあげて、子供たちの笑顔を励みに4人から7人の指導員で頑張っています。



おかげさまで、社協のボランティアアバンクの皆さんや、三入っ子支援クラブなど、地域の方々のお力も借りして、こま回しや折り紙、プレゼント工作、芋作りなど季節に応じた行事や茶道、裁縫(かっこよくソーイング)クラブなども企画し、子供たちにいるんな経験をしてもらっています。今年は新たに銭太鼓を特訓中。

地域の方が気軽に立ち寄って、子どもたちとふれあえる、そんな児童館でありたいと思っています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



H27年5月21日/交通安全教室



三入児童館



愛の灯



次の方々が香典返し等に代えて心のこもったご厚志を寄せられました。これは地域福祉の向上に対する深いご理解の賜物であります。ご厚情に対して心より厚くお礼を申し上げます。

- 上町屋 室下久美子 様
- 上町屋 山本 肇 様
- 上町屋 末田百合子 様
- 下町屋 児玉 健三 様
- 下町屋 谷口すみえ 様
- 桐原 棟久 玲子 様
- 桐原 平野キヨ美 様
- 桐原 田村 良明 様
- 桐原 吉松 誠 様
- 桐原 佐伯 千壽 様
- 桐原 横田 正幸 様
- 南原 中本由佳里 様

おくやみ

(平成27年1月から平成27年6月現在)

次の方々がこの間にお亡くなりになられました。ご生前のおもかげを偲びつつ、謹んでお悔やみ申し上げます。

- 上町屋 室下 正嗣 様 59歳
- 上町屋 引地ツユコ 様 84歳

三入社協へのご寄付

次の方から善意のご寄付を頂きました。地域の社会福祉事業に対するご理解、ならびにご協力に感謝を申し上げます。

- 上町屋 寺田 清 様 72歳
- 上町屋 山下 信男 様 64歳
- 上町屋 村岡 春江 様 70歳
- 下町屋 石田 妙子 様 64歳
- 下町屋 児玉タキノ 様 98歳
- 下町屋 樋口 隄一 様 72歳
- 下町屋 大田 弘 様 85歳
- 下町屋 白井千壽男 様 83歳
- 下町屋 渡辺 和夫 様 77歳
- 下町屋 国野 正行 様 83歳
- 桐原 棟久 正信 様 77歳
- 桐原 田村 房子 様 71歳
- 桐原 坂口 善累 様 81歳
- 桐原 亀島 澄子 様 88歳
- 桐原 平野 昭久 様 64歳
- 桐原 山崎ヒデ子 様 98歳
- 桐原 吉松 幸江 様 79歳
- 桐原 小田 富一 様 54歳
- 桐原 横田 保江 様 66歳
- 南原 中本千代子 様 94歳
- 南原 山本 照子 様 87歳
- 南原 表 ミサヲ 様 89歳
- 南原 宮本ミツル 様 89歳
- 南原 沖本 久 様 58歳
- 南原 藤原 司 様 73歳

下町屋 森下 軍様

地域の皆様からの声

「朝の声掛けで思うこと」

桐原地区

竹田 愛子

私は桐原19区の難所通学路で交通安全を祈りながら旗を振り始めて4年目となります。左右S字カーブで両脇に待機場所は無く、横断歩道は個人住宅の車庫に向かっていて児童の為にはあまり役に立たず、区役所や市議会議員の方にもお骨折りいただきましたが、問題はマンホールが其の部分にあるからだそうです。珍百景に出てきそうです。

それに加えて土砂災害の復旧作業の大型トラックが登校時刻と重なり、大変危険で児童の通学路さえ閉ざされ、車が通り過ぎるのを待つしか無いのです。

地域の通勤者も苛立ち、猛スピードで車を飛ばし、黄色い旗を出して児童が渡りかけているにも拘わらず侵入して事故一步手前のももあります。

私は毎朝仏さまに手を合わせて7時36分に(決まった帽子・チョッキに黄色い旗を持ち)小走りで現場に向かいます。黄色い帽子の行列が来ると緊張します。自転車も危険

で、何かあったらどうしようかと思いますが、私に何が出来るのか不安になります。地域の皆さん、どうか児童登校時に注意して下さい。

嬉しいことに今年も新一年生が3人います。班長は歩調を合わせ振り返り乍ら注意深く誘導している姿は微笑ましく、頼もしく思います。

欲を言えば大きな声で挨拶が出来ればよいと思います。

近所の人の話しかけも楽しみです。いつまで出来るか不安な日もありますが、これが私の使命と悟り、元気で明るく努めたいと思います。

「編集後記」

昨年8月の豪雨災害から一年が来る。私が住んでいる桐原地区も山崩れの復旧工事が急ピッチで進められ、急斜面の崩れた箇所がブルドーザーで以前の何倍かの幅で削り取られて山肌がポツカリ鮮明に確認できる。また土のうを積んで手着かずの箇所も随所に見られる。

今年の梅雨は何十年に一度という雨量や、竜巻の発生など多くの災害が発生しているようだ。

我々の住んでいる三入地域、今後は何事も無いことを祈りたい。

Y 生